



# The House

## 非木造の住家被害認定調査研修

Non-wooden residential damage assessment survey training

### あなたは、木造・非木造等、迅速に建物調査できますか？

首都直下地震や南海トラフ巨大地震では、膨大な“住家”の建物被害が発生。  
効率的な住家の被害認定調査がその後の生活再建のスピードに影響。  
本研修で非木造の住家被害認定調査スキルを身につけましょう！

- **開催日**：2023年12月8日（金） 9時30分から17時
- **場所**：東京大学生産技術研究所（駒場キャンパスS棟プレゼンテーションルーム）
- **対象者**：民間企業（保険会社、建物管理会社等）、地域住民、自治体職員。
- **受講形態**：講義＋実習
- **研修内容**：

2023年5月から火災保険会社やマンション管理会社等と被災住家の写真を共有して効率化が可能となった。



#### Mission 1：非木造住家の構造と住家被害認定調査について知る

1. 47種の災害対策業務の中の「住家」：沼田 宗純（東京大学）
2. 建築構造物の被害と対策：中埜 良昭（東京大学） ※災害科学論の講義動画の一部を紹介
3. 住家被害認定調査における提案～胆振東部地震の経験を踏まえた建物調査の在り方～：北海道北広島市
4. 非木造住家の建物構造と調査方法：株式会社東急コミュニティー
5. 住家被害認定調査のAIによる損傷面積率を用いた建物被害判定システムの開発：柴田 大雅（東京大学）

※DMTCでは、災害対策トレーニングプログラムを構築しています。今回の体験会ではこのプログラムの改善に向けて、内容の一部を試験的に扱います。

#### Mission 2：非木造の住家被害認定調査の実践

- **定員**：20名 ※11月22日申し込み締め切り。
- **参加費**：無料
- **持ち物・服装**：筆記用具、汚れても良い服装
- **主催**：東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター



#### ●お申し込み方法



<https://forms.gle/XXpJeuTm4KJmswaB6>

#### ●問い合わせ先

一般社団法人 災害対策トレーニングセンター支援会 (DMTC-SA)  
katsuya\_yoshida.dmtc@outlook.jp

全ての写真は、過去の研修の様子。このような研修を体験して頂きます。

# Training Overview

- **Title** 非木造の住家被害認定調査研修
- **Target** 民間企業、地域住民、自治体職員（住家被害認定調査担当者等）
- **Deliver Type** 講義＋実習
- **Training Description**

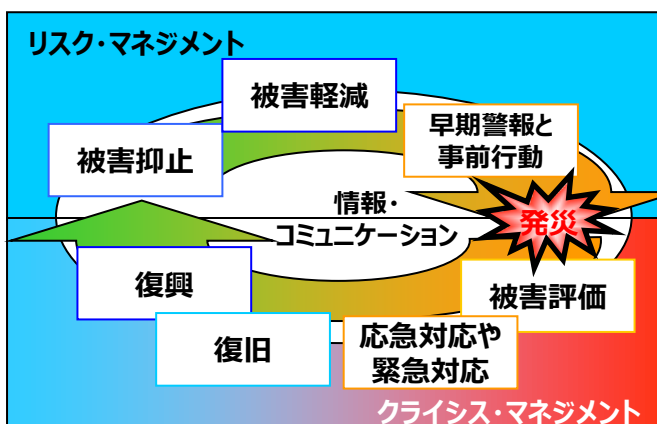
今後発生が予想されている首都直下地震では610万棟、南海トラフ巨大地震では2,400万棟もの住家被害認定調査の実施が想定されている。もし災害が起きたら、木造はもちろん鉄骨造や鉄筋コンクリート造など、建物の構造に関わらず、調査を実施することとなる。

2023年5月の内閣府通知にて被害認定の的確性を担保することが可能であれば、写真・映像により、被害認定することが可能である旨が記載され「被災者自らが撮影した写真の提供や火災保険会社やマンション管理会社等と被災住家の写真を共有するなどして、市町村が現地に臨場せずとも被害認定を行うこと」が可能と明確化された。

そこで、本トレーニングでは、非木造建物の構造や住家被害認定調査について学んだ上で、非木造建物の住家被害認定調査の実習を行う。もしもの災害に備えた住家被害認定調査の在り方を考える。

- **Training Objectives**
  - ・非木造の建物を知る。
  - ・非木造の住家被害認定調査を知る。
- **Mission Phase** 住家被害認定調査や罹災証明書発行
- **Focus Area** 5. 地域再建支援（28.住家の被害認定調査の実施）
- **Primary Core Capability** 判断力、思考力
- **Training Certificate** 修了証の発行

## Mission Phaseとは？



## Focus Areaとは？

